

「使用上の注意」改訂のお知らせ

2017年3月
 製造販売元 **大原薬品工業株式会社**
 お問い合わせ先：安全管理部
 TEL：03-6740-7701
 FAX：03-6740-7703

スルホニルウレア系経口血糖降下剤

劇薬、処方箋医薬品^{注)}

日本薬局方 グリメピリド錠

グリメピリド錠0.5mg「オーハラ」

グリメピリド錠1mg「オーハラ」

グリメピリド錠3mg「オーハラ」

GLIMEPIRIDE TABLETS 0.5mg「OHARA」

GLIMEPIRIDE TABLETS 1mg「OHARA」

GLIMEPIRIDE TABLETS 3mg「OHARA」

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

この度、弊社製品『グリメピリド錠0.5mg・1mg・3mg「オーハラ」』の【使用上の注意】を改訂いたしますので、お知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容（改訂項目のみ抜粋）〔___部：追記箇所・—部：削除箇所（自主改訂）〕

自主改訂により変更いたします。

改 訂 後	改 訂 前																								
<p>【使用上の注意】</p> <p>3. 相互作用 本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2C9 により代謝される。 併用注意(併用に注意すること)</p> <p>(1) 血糖降下作用を増強する薬剤</p> <p>1)、2) <略：現行どおり> 3) 薬剤名等：作用機序</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">作用機序</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><略：現行どおり></td> </tr> <tr> <td>プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等</td> <td rowspan="3">血中蛋白との結合抑制 〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕</td> </tr> <tr> <td>アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等</td> </tr> <tr> <td>オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><略：現行どおり></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	作用機序	<略：現行どおり>		プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕	アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等	オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等	<略：現行どおり>		<p>【使用上の注意】</p> <p>3. 相互作用 本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2C9 により代謝される。 併用注意(併用に注意すること)</p> <p>(1) 血糖降下作用を増強する薬剤</p> <p>1)、2) <略> 3) 薬剤名等：作用機序</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">作用機序</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><略></td> </tr> <tr> <td>ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン</td> <td>血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><略></td> </tr> <tr> <td>プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等</td> <td rowspan="3">血中蛋白との結合抑制 〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕</td> </tr> <tr> <td>アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等</td> </tr> <tr> <td>オキシカム系消炎剤 テノキシカム</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><略></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	作用機序	<略>		ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制	<略>		プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕	アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等	オキシカム系消炎剤 テノキシカム	<略>	
薬剤名等	作用機序																								
<略：現行どおり>																									
プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕																								
アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等																									
オキシカム系消炎剤 ロルノキシカム 等																									
<略：現行どおり>																									
薬剤名等	作用機序																								
<略>																									
ピラゾロン系消炎剤 ケトフェニルブタゾン	血中蛋白との結合抑制、 腎排泄抑制、肝代謝抑制																								
<略>																									
プロピオン酸系消炎剤 ナプロキセン ロキソプロフェンナトリウム水和物 等	血中蛋白との結合抑制 〔これらの消炎剤は蛋白結合率が高いので、血中に本剤の遊離型が増加して血糖降下作用が増強するおそれがある。〕																								
アリール酢酸系消炎剤 アンフェナクナトリウム水和物 ナブメトン 等																									
オキシカム系消炎剤 テノキシカム																									
<略>																									

2. 改訂理由

先発製剤の改訂に伴い、本剤においても同様の記載をいたします。

- ☆ 改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行「DSU 医薬品安全対策情報 No.257」に掲載されます。改訂後の添付文書全文につきましては、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ」(<http://www.pmda.go.jp>) 並びに弊社ホームページ (<http://www.ohara-ch.co.jp>) をご参照ください。